

数字：通巻頁数, ()内数字：号数

Nomade

脊椎外科医が「脊椎動物」として思うこと	大島 寧	3(1)
臨床倫理を考える	矢野 俊介	79(2)
手術手技の進歩とこれからの医療	高橋 寛	169(3)
脊椎脊髄研究に関する一考察	藤田 順之	547(5)
顔の記憶は不必要か	畑中 裕己	609(6)
陰と陽	永島 英樹	671(7)
「戦いの医学」と「共存の医学」	神崎 浩二	747(8)
「何をサブスペシャリティにしたらいいますか？」—脊髄脊椎外科の動向を鑑みる	村田 英俊	823(9)
感染症との戦い	橘 俊哉	899(10)
いかに神経診察を学び、教えるか	下畑 享良	977(11)
多様性	秋山 雅彦	1049(12)

特 集

◆ 脊椎脊髄 MRI 再入門
—これだけは知っておこう—◆

特集にあたって	青木 茂樹	13(1)
脊椎脊髄 MRI のアーチファクトと偶発所見	鈴木 通真・池之内 稔・青木 茂樹	14(1)
T1 強調画像で知っておくべきこと—特徴的信号と読影時の注意	前田 正幸・小久江良太・海野 真記	21(1)
T2 強調画像で知っておくべきこと—特徴的信号と読影時の注意	大場 哲郎	27(1)
T2*強調画像（グラディエントエコー法）で知っておくべきこと—特徴的信号と読影時の注意	中塚 智也・稲岡 努・北村 範子 石川ルミ子・粕谷 秀輔・寺田 一志	31(1)
MR neurography で知っておくべきこと—画像		

の成り立ちと撮影時の注意	牧 聡・江口 和・平山 次郎 横田 元・松本 浩史・大鳥 精司	37(1)
血管障害の MRI で知っておくべきこと—特徴的信号と読影時の注意	高井 敬介	47(1)
Advanced MRI としての拡散強調画像	堀 正明・鈴木 賢一・神谷 昂平 古寺 順一・水村 直	51(1)
撮像法のリスト—脊椎脊髄 MRI に用いられている撮像技術	濱崎 望・後藤 政実・福永 一星	57(1)
MRI の安全性—デバイスと注意点	圓崎 将大・小味 昌憲・平井 俊範	65(1)

◆ 脊柱靱帯骨化症 UP TO DATE ◆

特集にあたって	山崎 正志	81(2)
脊柱靱帯骨化症診療ガイドラインの改訂にあたって	川口 善治	82(2)
K-line を用いた頸椎後縦靱帯骨化症の術式選択	古矢 丈雄・山崎 正志・藤由 崇之 國府田正雄・小西 宏昭・大鳥 精司	89(2)
頸椎後縦靱帯骨化症の手術治療	吉井 俊貴	95(2)
圧迫性頸髄症手術前後の転倒による症状悪化	木村 敦	103(2)
頸椎後縦靱帯骨化症患者の全脊柱における靱帯骨化巣の評価	平井 高志・吉井 俊貴・名越 慈人 西村 空也・森 幹士・竹内 一裕 大川 淳・川口 善治	109(2)
胸椎後縦靱帯骨化症の手術治療—最近の進歩	今釜 史郎・安藤 圭・小林 和克 中島 宏彰・石黒 直樹・松山 幸弘 松本 守雄・川口 善治・大川 淳	119(2)
後縦靱帯骨化症に対する術中脊髄モニタリング	吉田 剛・松山 幸弘	127(2)
びまん性特発性骨増殖症に伴った脊椎損傷		

……………岡田英次朗・松本 守雄……	133(2)
胸椎黄色靱帯骨化症に対する手術治療……………	
安藤 圭・今釜 史郎・石黒 直樹	
松山 幸弘・松本 守雄・川口 善治	
大川 淳・日本医療研究開発機構	
(AMED)……………	139(2)
進行性骨化性線維異形成症に関する臨床研究……	
芳賀 信彦・中島 康晴・鬼頭 浩史	
片桐 岳信・神蘭 淳司・西條 英人……	145(2)
脊柱靱帯骨化症に対するロボットリハビリテー	
ション……………	
久保田茂希・門根 秀樹・清水 如代	
安部 哲哉・国府田正雄・山崎 正志……	151(2)

◆心因性疾患(変換症/転換性障害; ヒステリー)の現在◆

特集にあたって……………園生 雅弘……	177(3)
変換症の概念とその変遷……………野間 俊一……	178(3)
ヒステリー性筋力低下(機能性筋力低下)の診	
断……………園生 雅弘……	183(3)
「心因性」と間違いやすい疾患—どうすれば誤診	
を防げるか?……………福武 敏夫……	191(3)
心因性疾患「ジストニア」……………坂本 崇……	201(3)
脊椎脊髄外科領域で遭遇する転換性障害(ヒス	
テリー)……………二階堂琢也・紺野 慎一……	205(3)
手外科領域で遭遇する転換性障害症例……………	
池田 和夫・納村 直希・多田 薫……	215(3)
心療内科的治療……………岡 孝和……	223(3)
転換性障害のリハビリテーション	
……………渡辺 俊之……	229(3)

◆脊椎脊髄疾患に対する分類・評価法◆

特集にあたって……………徳橋 泰明……	249(4)
---------------------	--------

■第1章 頸椎

頸椎症性神経根症の診断指標……………小澤 浩司……	252(4)
頸椎症性脊髄症における服部の分類	
……………田口 敏彦……	256(4)
JOA スコア—頸髄症	
……………鎌田 修博・平林 洵……	260(4)
Neurosurgical Cervical Spine Scale (NCSS)	
……………飯塚 秀明……	270(4)
頸椎症性脊髄症における責任椎間高位の神経学	

的診断指標……………亀山 隆……	274(4)
頸椎の脊柱管前後径—加齢変化, 動的因子	
……………伊藤 圭吾・加藤 文彦……	280(4)
頸椎後縦靱帯骨化症の形態分類	
……………吉井 俊貴……	285(4)
頸椎後縦靱帯骨化占拠率と K-line	
……………藤由 崇之……	290(4)
JOACMEQ……………橋爪 洋・川上 守……	295(4)
RA 頸椎病変の画像評価法—ADI, SAC など	
……………海渡 貴司……	303(4)
Myelopathy hand と頸髄症の重症度評価……………	
岩崎 幹季・長本 行隆・奥田 真也……	307(4)

■第2章 胸椎・胸腰椎

胸椎後縦靱帯骨化症の骨化形態分類	
……………岡田英次朗・松本 守雄……	312(4)
胸椎黄色靱帯骨化症の骨化形態分類……………	
安藤 圭・今釜 史郎・小林 和克	
中島 宏彰・石黒 直樹・松山 幸弘……	316(4)
びまん性特発性骨増殖症(DISH)の診断基準	
……………高橋 真治・中村 博亮……	320(4)
胸腰椎骨折分類—Denis 分類……………須田 浩太……	326(4)
胸腰椎損傷の新 AO 分類	
……………竹内 大作・種市 洋……	329(4)
加重負担分類(load sharing classification)	
……………永島 英樹……	335(4)

■第3章 腰椎

神経性間欠跛行の分類……………大谷 晃司……	340(4)
腰部脊柱管狭窄症の国際分類	
……………二階堂琢也・紺野 慎一……	342(4)
腰部脊柱管狭窄症の診断サポートツール	
……………渡邊 和之・紺野 慎一……	347(4)
腰椎椎間板ヘルニアの分類……………小森 博達……	350(4)
Modic change……………	
大鳥 精司・折田 純久・稲毛 一秀	
志賀 康浩・牧 聡・古矢 丈雄	
江口 和……………	355(4)
椎間孔部狭窄の分類……………久野木順一……	361(4)
腰椎すべりの分類—Meyerding 分類, % slip,	
slip angle……………河村 直洋……	366(4)
発育期腰椎分離症の分類	
……………前田 徹・西良 浩一……	369(4)

JOABPEQ……………牧野 紘士・川口 善治…… 374(4)	……………笹森 徹・飛驒 一利…… 459(4)
■第4章 外傷	二分脊椎の分類とその発生異常
外傷性頸部症候群, むち打ち症関連障害	……………長坂 昌登…… 463(4)
(WAD)の重症度分類……………	腰仙椎部神経根奇形の分類—Neidre-Macnab
波多野敬介・大橋 洋輝・川村 大地	分類……………小林 洋・紺野 慎一…… 473(4)
谷 諭…………… 378(4)	腰仙部移行椎の分類—Castellviらの形態分類
Frankel分類とASIA機能障害尺度(AIS)	……………加藤 欽志・紺野 慎一…… 476(4)
……………河野 修・前田 健…… 383(4)	■第8章 炎症
Atlantoaxial rotatory fixation (AARF) に対する分類・評価法	Ranawat分類……………鷺見 正敏…… 482(4)
……………高橋 雅人・里見 和彦…… 389(4)	関節リウマチ stage 分類, class 分類
	……………海渡 貴司…… 485(4)
■第5章 腫瘍	■第9章 骨粗鬆症
転移性脊椎腫瘍に対する生命予後予測スコア—	椎体骨折の評価—QM法, SQ法
Tokuhashi score, New Katagiri score	……………戸川 大輔…… 490(4)
……………徳橋 泰明…… 394(4)	骨粗鬆症の診断基準……………宮腰 尚久…… 494(4)
Epidural spinal cord compression scale	
……………上井 浩…… 398(4)	■第10章 脊髄変性・炎症
Spinal Instability Neoplastic Score (SINS)	HAM/TSPの診断指針—HTLV-1関連脊髄症
……………高木 辰哉…… 402(4)	(HAM)診療ガイドライン2019を踏まえて
脊椎腫瘍のWeinstein-Boriani-Biagini分類……	……………山野 嘉久…… 498(4)
三澤 治夫・中田 英二・尾崎 敏文…… 409(4)	多発性硬化症の診断基準……………三須 建郎…… 504(4)
脊髄砂時計腫—分類と手術アプローチ	筋萎縮性側索硬化症の診断基準
……………高安 正和…… 413(4)	……………高橋 和沙・園生 雅弘…… 509(4)
脊髄髄内腫瘍に対する手術成績評価法	視神経脊髄炎関連疾患の診断基準
……………内藤堅太郎・高見 俊宏…… 420(4)	……………中村 正史・中島 一郎…… 515(4)
■第6章 脊柱変形	■第11章 その他
脊柱変形の成因に基づいた分類……………	脊髄空洞症の分類……………
大橋 正幸・渡辺 慶・長谷川和宏…… 426(4)	波多野敬介・大橋 洋輝・川村 大地
側弯症治療を行う際の骨成熟度評価法—Risser	磯島 晃・谷 諭・阿部 俊昭…… 520(4)
分類を中心に……野原亜也斗・川上 紀明…… 432(4)	パーキンソン病の病期分類……………柴山 秀博…… 525(4)
Cobb法と椎体回旋度	BS-POP……………渡邊 和之・矢吹 省司…… 528(4)
……………白澤 栄樹・高相 晶士…… 438(4)	脊髄AVF & AVMの分類……………高井 敬介…… 533(4)
思春期特発性側弯症に対するLenke分類	◆脊椎脊髄外科における最新の超音波診断◆
……………渡辺 航太・松本 守雄…… 444(4)	特集にあたって……………根尾 昌志…… 557(5)
成人脊柱変形の分類—SRS-Schwab分類	腰椎神経根ブロックへの応用……堀田 訓久…… 558(5)
……………大和 雄…… 449(4)	頸椎椎弓形成術後C5麻痺の術前予測……………
■第7章 先天性	竹内 幹伸・若尾 典充・神谷 光広
歯突起形成異常の分類……………師田 信人…… 454(4)	平澤 敦彦・高安 正和…………… 565(5)
Chiari奇形の分類	頸椎前方手術における術中超音波検査の有用

性……………	
三原 久範・多々羅靖則・新村 高典	
伊藤 陽平・関屋 辰洋……………	569(5)
術中頸髄除圧状態の評価（後方）	
……………佐藤 公治……………	577(5)
頸椎椎弓形成術後における脊髄の評価—経皮的	
超音波検査を用いて……………	
中矢 良治・羽山 祥生・根尾 昌志……………	583(5)
腰痛に対する超音波ガイド下インターベンシ	
ョンの実際……………岩崎 博・山田 宏……………	591(5)

◆80歳以上の脊椎脊髄損傷◆

特集にあたって……………永島 英樹……………	617(6)
高齢者の脊椎脊髄損傷の現状と予後	
……………松本 聡子・須田 浩太……………	618(6)
高齢者歯突起骨折の現状と治療……………	
飯塚 陽一・本田 哲・筑田 博隆……………	621(6)
骨粗鬆症性椎体骨折の現状と治療	
……………高橋 真治……………	627(6)
高齢者のびまん性特発性骨増殖症を合併した脊	
椎損傷の現状と治療……………	
岡田英次朗・渡辺 航太・松本 守雄……………	635(6)
脆弱性骨盤輪（仙骨）骨折の現状と治療	
……………大森 貴夫・伊藤 康夫……………	641(6)
脊髄損傷患者のリハビリテーション	
……………益田 宗彰……………	649(6)

◆頸部神経根症の治療を見直す◆

特集にあたって……………高橋 敏行……………	681(7)
頸部神経根症を正しく診断するためのポイント	
……………田中 靖久……………	682(7)
超音波ガイド下神経根ブロック	
……………安部洋一郎……………	691(7)
頸部神経根症様上肢痛に対する腕神経叢パルス	
高周波法の有用性……………	
南 学・花北 順哉・高橋 敏行	
島内 寛也・宮坂 和弘・兼松 龍……………	699(7)
頸椎神経根症に対する全内視鏡下椎間孔拡大	
術—ヘルニア摘出に着手して	
……………大森 一生……………	707(7)
頸部神経根症に対する anterior cervical forami-	
notomy……………	
大竹 安史・花北 順哉・高橋 敏行	

兼松 龍・南 学・河岡 大悟……………	713(7)
頸部神経根症への前方除圧固定術……………	
千葉 泰弘・小柳 泉・今村 博幸	
阿部 弘……………	723(7)
頸部神経根症に対する頸椎人工椎間板置換術	
……………石井 賢……………	731(7)

◆リハビリテーションにおける ロボット技術の最近の進歩◆

特集にあたって……………飛驒 一利……………	757(8)
リハビリテーション医療におけるリハビリテ	
ーションロボットの標準化……………	
浅見 豊子・村田 和樹・芳賀 信彦	
木口 量夫・野田 龍也……………	758(8)
上肢リハビリテーション支援ロボットの現状と	
今後について…岩佐 沙弥・道免 和久……………	765(8)
Akita Trainer を使用したロボットリハビリ	
テーション……………	
斉藤 公男・島田 洋一・巖見 武裕	
木村 竜太……………	771(8)
Honda 歩行アシストについて	
……………小林 龍生・尼子 雅敏……………	777(8)
HAL 医療用下肢タイプによる機能再生—脊髄	
障害における歩行運動療法…中島 孝……………	783(8)
片麻痺患者の歩行練習支援ロボット「ウェル	
ウォーク」の現在と未来……………	
平野 哲・大高 洋平・向野 雅彦	
才藤 栄一……………	793(8)
反復性経頭蓋磁気刺激（rTMS）を用いたリハ	
ビリテーション治療……………佐々木信幸……………	799(8)

◆脊椎硬膜病変—最近の話題◆

特集にあたって……………谷 論……………	833(9)
硬膜・硬膜外腔の解剖……………内門 久明……………	834(9)
Duropathies の概念……………柳下 章……………	841(9)
脊椎・脊髄に出血原因がある脳表ヘモジデリン	
沈着症……………高井 敬介……………	857(9)
脊髄ヘルニアの病態と治療……………	
中島 宏彰・今釜 史郎・安藤 圭	
小林 和克・八木 秀樹……………	865(9)
髄液瘻に伴う髄液減少症	
……………高橋 浩一・三浦 真弘……………	871(9)
脊髄肥厚性硬膜炎……………	

長谷川智彦・三原 唯暉・松山 幸弘…… 881(9)

◆ 脊椎・脊髄損傷 ◆

— 診断・治療の最前線と今後の展望 —

特集にあたって……中村 雅也…… 909(10)

急性期脊髄損傷のバイオマーカー

……緒方 徹…… 910(10)

超急性期脊髄損傷に対する手術治療戦略……

須田 浩太・松本 聡子・小松 幹

太田 昌博・渡辺 堯仁・飛鳥井 光…… 915(10)

亜急性期脊髄損傷に対する骨髄間葉系幹細胞移

植……

廣田 亮介・佐々木祐典・福士龍之介

栗原 康太・押切 勉・本望 修

山下 敏彦…… 920(10)

脊髄損傷に対する Muse 細胞移植治療……

遠藤 俊毅・新妻 邦泰・梶谷 卓未

高橋 義晴・鈴木 晋介・富永 悌二…… 926(10)

亜急性期脊髄損傷に対する iPS 細胞由来神経幹

細胞移植……

名越 慈人・岡野 栄之・中村 雅也…… 931(10)

脊髄損傷者に対するリハビリテーション……

垣田 真里・梅本 安則・田島 文博…… 937(10)

慢性期脊髄損傷患者における臨床現場での課題

……益田 宗彰・坂井 宏旭…… 945(10)

慢性期脊髄損傷への治療戦略—軸索再生阻害因

子の克服……

伊藤 修平・名越 慈人・中村 雅也…… 953(10)

慢性期脊髄損傷に対する細胞治療とリハビリ

テーションの融合……田代 祥一…… 961(10)

◆ 脊髄性運動失調 ◆

特集にあたって……亀山 隆…… 985(11)

脊髄性運動失調とは……亀山 隆…… 986(11)

Romberg 徴候—原著, 病態, 診断学的意義

……高橋 昭…… 997(11)

脊髄小脳路の解剖

……松井 利康・小林 靖……1003(11)

脊髄小脳路の電気生理学的評価

……園生 雅弘……1011(11)

脊髄小脳路の病理……吉田 眞理……1017(11)

脊髄小脳路を侵す疾患……

渡辺 宏久・島 さゆり・水谷 泰彰

伊藤 瑞規・植田 晃広……1025(11)

脊髄小脳路の症候学—脊髄-延髄病変由来の小

脳型運動失調……福武 敏夫……1031(11)

◆ 脊椎骨粗鬆症性椎体骨折に対する治療戦略 ◆

— 薬物療法を中心に UP TO DATE —

特集にあたって……松山 幸弘……1051(12)

骨粗鬆症性椎体骨折の保存療法の限界につい

て—前向き多施設研究結果を踏まえて……

寺井 秀富・高橋 真治・星野 雅俊

藪 晋人・中村 博亮……1052(12)

厳格な保存治療とは……若尾 典充……1059(12)

装具療法—前向き多施設研究結果を踏まえて…

猪瀬 弘之, 加藤 剛, 吉井 俊貴

大川 淳……1067(12)

体幹ギプスによる徹底的な保存治療

……杉田 誠……1073(12)

椎体骨折予防と治療における至適な薬物療法に

ついて—非臨床試験・臨床試験からみた薬剤

の特徴……斎藤 充……1081(12)

骨粗鬆症性新規椎体骨折予防における治療介入

と薬剤の選択……星野 裕信……1091(12)

椎体骨折予防と治療における至適な薬物療法に

ついて—デノスマブ, テリパラチド, ロモソ

ズマブの使い分け……宮腰 尚久……1097(12)

痛みの治療……

稲毛 一秀・折田 純久・江口 和

志賀 康浩・古矢 丈雄・牧 聡

大島 精司……1105(12)

症例報告

頸椎後方除圧固定術後 7 日以上経過後, アスビ

リン再開直後に硬膜外血腫を生じた 2 例……

熊谷 直利・金山 修一・鷺見 正敏

笠原 孝一・金村 在哲・平田 裕亮…… 807(8)

イラストレイテッド・サージェリー

髄内血管腫と血管芽腫の摘出……藤原 靖…… 5(1)

頸髄腹側に発生した海綿状血管腫に対する前方

アプローチ……名越 慈人・中村 雅也…… 171(3)

腰椎後側弯矯正術—多椎間 posterior column

osteotomy (PCO) を併用したロッドローテ ション……………長谷川智彦………… 549(5)	内藤堅太郎・山縣 徹・高見 俊宏………… 749(8)
頸椎 paravertebral foramen screw ……………國府田正雄………… 611(6)	肩甲舌骨筋外縁進入による頸椎前方アプローチ ……………相庭 温臣………… 825(9)
頸部脊髄刺激療法（外科的パドル電極植え込み 術）……………矢野 俊介・笹森 徹………… 673(7)	腰椎椎間板ヘルニアに対する後方進入内視鏡下 手術—foraminoplastic outside-in ……………八木 清・西良 浩一………… 901(10)
C2 神経鞘腫に対する後方片側開創による顕微 鏡下全摘出術……………	脊柱変形の矯正術—Pedicicle subtraction osteot- omy……………渡辺 航太………… 979(11)